

●道路

根室管内は、広大な土地面積に集落が分散しており、住民生活の利便性の拡大及び農・水産物の輸送などに国道、道道等の幹線道路は重要な役割を果たしています。

道路延長は、国道6路線296.4km、道道44路線592.7km、市町村道2,268路線2,500.5kmであり、高規格道路なども含め順次整備が進められています。

●鉄道・バス

国鉄の分割・民営化に伴い、平成元年4月標津線（厚床～中標津、根室標津～標茶）が廃止され、根室管内では、根室本線（花咲線（根室～釧路間））1線となっています。

このため、管内4町にはJRが運行しておらず、乗合バスが唯一の公共交通機関となっています。マイカーの普及や少子化の進展により通学者が減少するなど、公共交通機関の利用者は減少傾向にあります。学生や高齢者など自ら交通手段を持たない住民にとって、乗合バスは唯一の交通手段であることから、路線を維持・確保していくため、地域のニーズに合った路線運行や利用促進などの方策が求められています。

また、花咲線については、平成28年11月にJR北海道が公表した「当社単独では維持することが困難な線区」の一つに位置づけられている

ことから、地域では、花咲線の維持存続に向けた様々な利用促進に向けた取組が進められています。

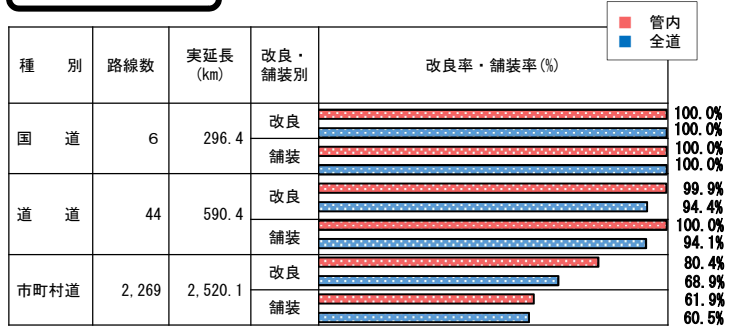
●港湾

重要港湾根室港は、100年を超える歴史を有しており、明治の黎明期より、まちの発展を支える北方圏交易の要衝として、更には、豊かな資源に恵まれた国内有数の水産基地として、古くから、その役割と使命を担ってきたところであり、近年においては、ビザなし交流やサンマの水揚げ日本一など、これらを支える基盤施設として、根室港区での南地区整備構想や、花咲港区での屋根付き岸壁施設の整備など、北方四島交流拠点機能と水産基地機能の更なる強化に努めております。



●根室港

道路の現況



(道路現況調査、根室振興局調べ)
(令和5年4月現在)

高規格道路

路線名	予定路線	整備状況
北海道横断自動車道根室線 (国土開発幹線自動車道に平行する一般国道自動車専用道路)	釧路市～根室市間 (143km)	一般国道38号・44号釧路外環状道路 ・釧路西IC～釧路東IC(9.9km) H27年度供用開始 ・釧路東IC～釧路別保(6.9km) H30年度供用開始 一般国道44号根室道路 ・温根沼～穂香(7.1km) R1年度供用開始
高規格道路・根室中標津道路	根室市～中標津町間 (40km)	主要道道根室中標津線 ・別海道路(8.1km) H27年度供用開始
高規格道路・釧路中標津道路	釧路町～標津町間 (100km)	一般国道272号 ・春別道路(13.1km) H18年度供用開始 ・阿歴内道路(5.4km) H24年度供用開始 ・上別保道路(7.8km) H27年度供用開始(うち1.2km) H30年度供用開始(うち6.6km)

(根室振興局調べ)

重要港湾根室港の利用実績と貨物取扱量

港区	根室港区		花咲港区		根室港		
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	
利用実績	外航商船	0	0	392	50,949	392	50,949
	内航商船	4	4,496	22	46,794	26	51,290
	漁船	9,633	77,403	15,726	349,827	25,359	427,230
	その他	185	64,469	292	16,074	477	80,543
	計	9,822	146,368	16,432	463,644	26,254	610,012
貨物取扱量	移入	17,993		111,479		129,472	
	移出	99,422		393,964		427,388	
	輸入	—		23		23	
	輸出	—		6,214		6,214	

(根室市調べ)
(令和6年度)

●空 港

管内唯一の空港である中標津空港は世界自然遺産知床の空の玄関口としても多くの人に利用されています。木造で木のぬくもりが溢れる根室中標津空港ビルは市街地からも程近く、利便性の高い空港です。令和5年10月には新たに丘珠空港と繋がったことで、東京線1往復/日、札幌線5往復/日となり、更に利便性が向上しました。

ひがし北海道エリアの他の空港との連携や利用促進、チャーター便誘致等にも積極的に取り組み、例年年間20万人近くの方にご利用いただいております。（※R2・R3は新型コロナウイルス感染症の影響による大幅減）



●中標津空港

●貿 易

根室市の重要港湾根室港（花咲港区）は、管内唯一の貿易港として大きな役割を果たしています。同港の貿易船入港隻数は、平成11年に過去最高の1,774隻を記録した後、減少を続け、令和5年は392隻で前年よりも14隻（3.7%）増加しました。

国籍別の内訳では、全てロシア国籍で占められており、ロシア国籍船舶の入港隻数は、前年より14隻増加し、392隻となりました。

また、輸出入を併せた貿易額は、平成14年に過去最高の90億9,825万円を記録し、年々減少を続けておりますが、令和5年度は4,652万円で、前年より6,894万円の59.7%増加しました。

貿易形態は大幅な輸入超過となっており、主な輸入品は生鮮魚介類で輸入額全体の96.3%を占めております。前年との比較では、生鮮魚介類は10.6%増加、冷凍魚介類は190%増加し、全体として13.1%増加となり、昨年に引き続き平成18年以来の15年ぶりの70億円を3年連続して超える水準となりました。

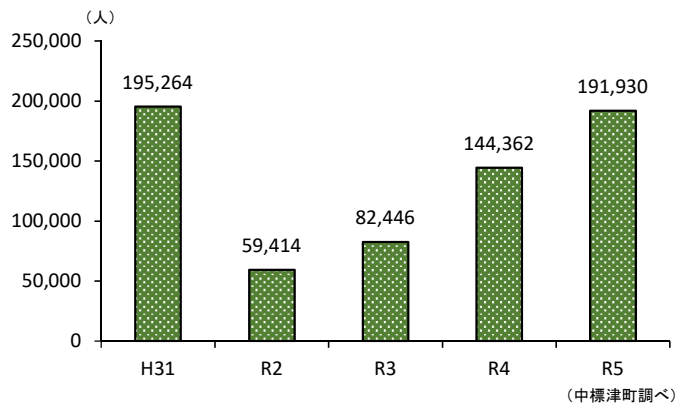
平成25年6月には、貿易船入港隻数が通算2万隻を達成し、初入港から26年3ヶ月での達成は、道内で最速となります。

中標津空港

種別	地方管理空港（管理者：北海道）
滑走路の長さ	2,000m
定期便	新千歳空港 3便 丘珠空港 2便 羽田空港 1便
利用航空機の形状及び種類	A321, B767, B737, DHC8Q-400, ATR42-600等

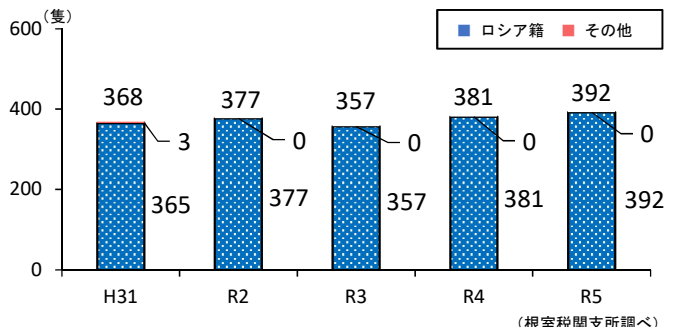
（中標津町調べ：令和6年10月現在）

中標津空港利用状況の推移



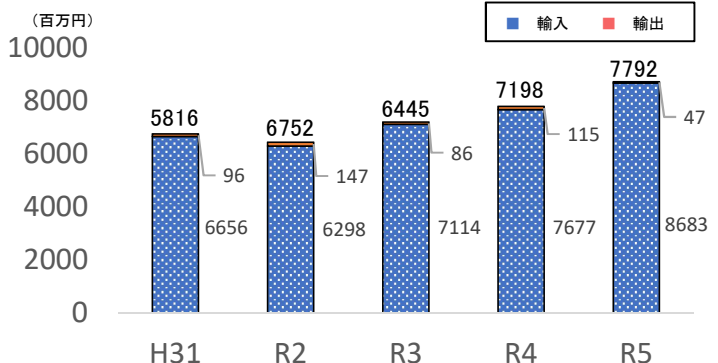
（中標津町調べ）

重要港湾根室港（花咲港区）の入港隻数の推移



（根室税関支所調べ）

重要港湾根室港（花咲港区）の貿易額の推移



（根室税関支所調べ）